

化学工学会エネルギー一部会熱利用分科会 第21回研究会
化学工学会エネルギー一部会新エネルギー・エネルギーシステム分科会 研究会
産業・運輸・民生分野における熱マネジメント技術・システム
開催報告

平成23年3月3日

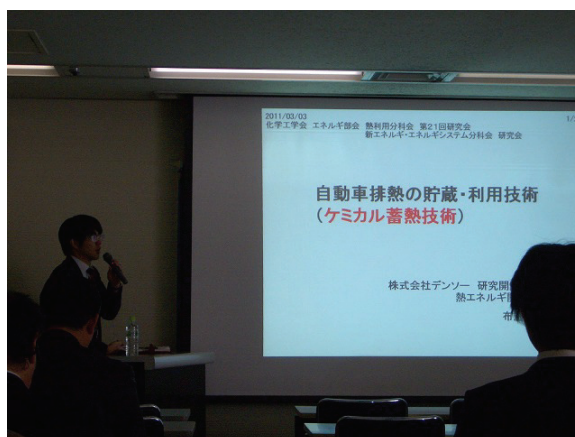
平成23年3月3日（木）13:30より、名古屋国際センター第2研修室において、エネルギー一部会熱利用分科会第21回研究会（平成22年度第2回）を開催し、23名の皆様にご参加をいただきました。

今回は新エネルギー・エネルギーシステム分科会と共同で企画・開催をし、「産業・運輸・民生分野における熱マネジメント技術・システム」と題して、東海地方における産学分野から3名の方に講演をしていただきました。

1件目の講演では、株式会社デンソーの布施様に「自動車排熱の貯蔵・利用技術（ケミカル蓄熱技術）」と題して、現在、研究開発を進められているCaO/Ca(OH)₂系ケミカルヒートポンプ（CHP）の反応速度論に関する実験的・理論的な取り組みをご紹介いただきました。本研究会ではCHP関連の研究者が多かったこともあり、非常に活発な議論が行われました。2件目の講演では、株式会社INAXの新開様に「窯業用焼成炉における省エネルギー対策の現状と課題」と題して、2010年愛知環境賞金賞を受賞されたINAX様における省エネルギー・CO₂排出削減の取り組みをご紹介いただきました。排熱回収における窯業用焼成炉特有の問題や投資効率の低さによる省エネルギー推進の困難さを事例・苦労話を交えて分かりやすくお話していただき、排熱の実利用の難しさについて認識を新たにすることができました。最後の講演では、名古屋大学の板谷先生に「微細結晶スラリー吸収液による蓄熱型吸収式ヒートポンプ」と題して、石油化学工業への適用を目指した吸収式ヒートポンプの性能改善策として、臭化リチウム/水系の吸収液に吸着材を添加する新システムについて、基本原理から数値解析による性能予測までをご紹介いただきました。

いずれの講演においても、質疑応答時には活発に議論が交わされ、聴講者・講師の先生双方にとって有意義な情報・意見交換を行うことができた研究会となりました。

（21回研究会担当幹事：窪田 光宏）



ご講演中の布施様



ご講演中の新开様



ご講演中の板谷先生